

歯科市場情報

第14回 歯科材料の市場推移 (2017年2月)

監修 山本貴金属地金株式会社
博士（学術） 佐藤雄司

株式会社アールアンドディから、「歯科機器・用品年鑑 2017年版」が発行されました。

同社は、名古屋市瑞穂区にある市場調査会社で、調査対象が医薬品、医療機器、歯科機器、科学機器、医療機関といった医療マーケットに特化していることが特徴です。

今回は、同社から発行された最新の「歯科機器・用品年鑑」をもとにCAD/CAM材料を中心に近年の歯科市場の推移を考察したいと思います。

【ハイブリッドレジンブロック市場は、初年度の1.7倍の規模へ】

保険適用のCAD/CAM冠で用いられるハイブリッドレジンブロックの市場は、図1に示すように2015年度のメーカー出荷実績は121.8万個、さらに2016年度は145.1万個と予測され、急速に市場が拡大していることが数字の上で明らかになりました。

小臼歯の治療にCAD/CAM冠が保険導入された2014年度には86.3万個であったところから、2016年度は1.7倍近くに成長する見込みとなっています。

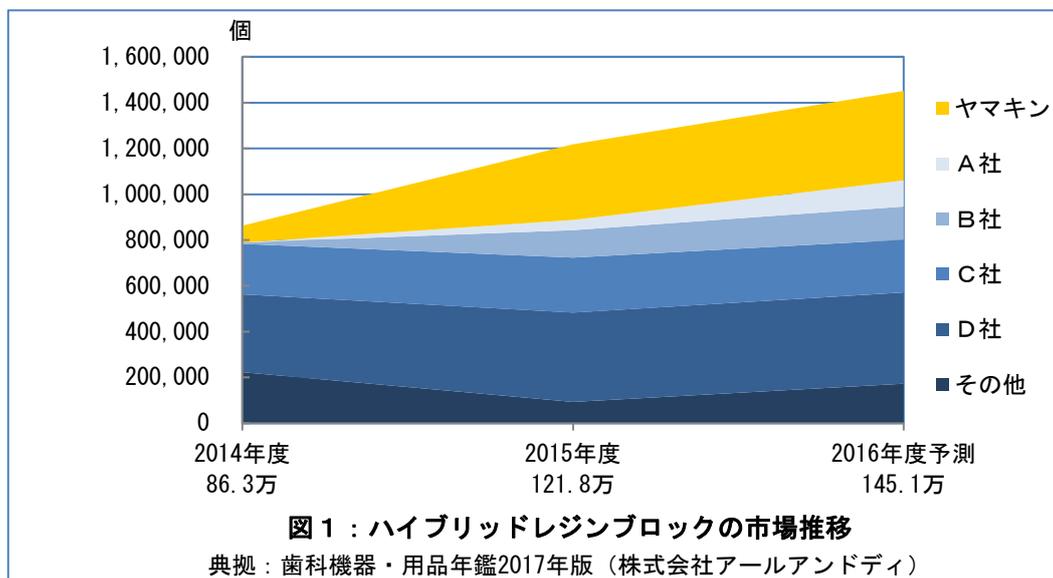


表 1 : 届出割合が大きく増加した都道府県 (ヤマキン調べ)

	2016年12月	増加(差異)	2015年12月
沖縄県	63.2%	← 15.9 ←	47.3%
三重県	58.2%	← 13.9 ←	44.3%
富山県	59.9%	← 13.2 ←	46.7%
島根県	54.5%	← 12.7 ←	41.8%
青森県	47.8%	← 12.6 ←	35.2%
【参考】全国計	60.3%	← 8.9 ←	51.4%

CAD/CAM冠は、2016年4月に歯科用金属を原因とする金属アレルギー患者に限るものの、適応が大臼歯へ拡大され、今後の普及に注目が集まるところです。

これからも引き続き、全国の患者が、地域に偏りなく均等に歯科医療サービスを楽しむことができるよう、私たち歯科医療関係者の努力が望まれます。

【安定した市場拡大を見せる CAD/CAM 装置】

歯科用 CAD/CAM 装置の市場は、スキャナ、ミリングマシンの販売台数が図 3 に示すとおり 2014 年度に急増しています。

これは 2014 年 4 月の CAD/CAM 冠の保険導入が要因と考えられます。中小企業庁の「ものづくり補助金」平成 26 年度（2014 年度）の 1 次公募、2 次公募では、歯科用 CAD/CAM 関連とみられる案件が約 120 件採択されており（ヤマキン調べ）、このような制度活用も新技術の普及を後押ししたことがわかります。

その後も、年間の販売台数は安定的に推移していることから、市場は一定のスピードで拡大していると推察できます。

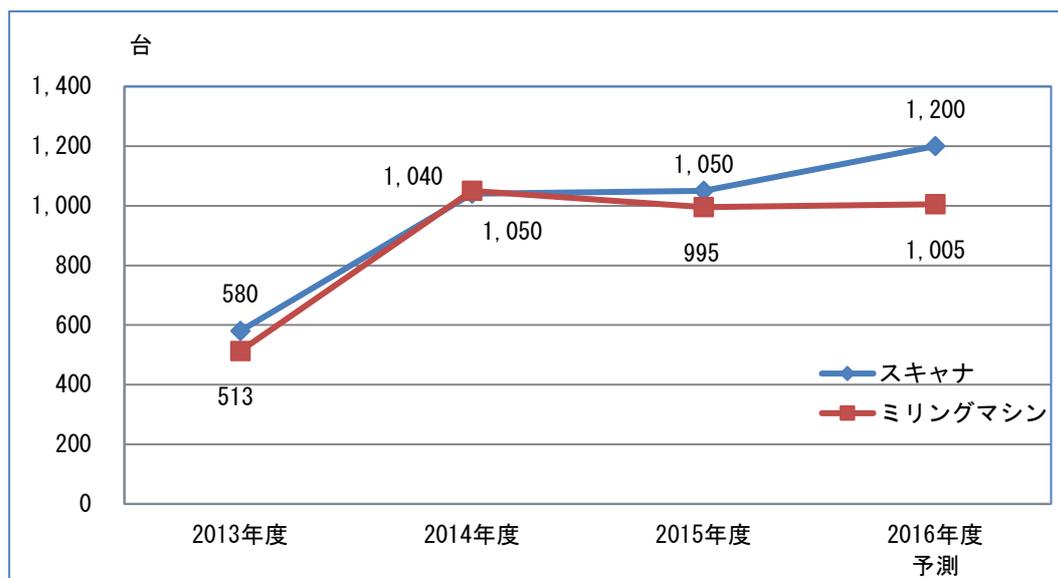


図 3 : CAD/CAM装置の販売台数推移

典拠：歯科機器・用品年鑑2017年版 株式会社アールアンドディ

なお、スキャナの一部には、口腔内スキャナの台数も含まれているとのことで、こちらの将来性にも注目したいところです。

口腔内スキャナの特徴や将来性については、現在ヤマキンが編集を行っている「歯科用CAD/CAMハンドブックⅤ」に詳しくご紹介することとしておりますので、ご期待ください。

【審美性の高いCAD/CAM材料（オールセラミックス材料）も順調に拡大】

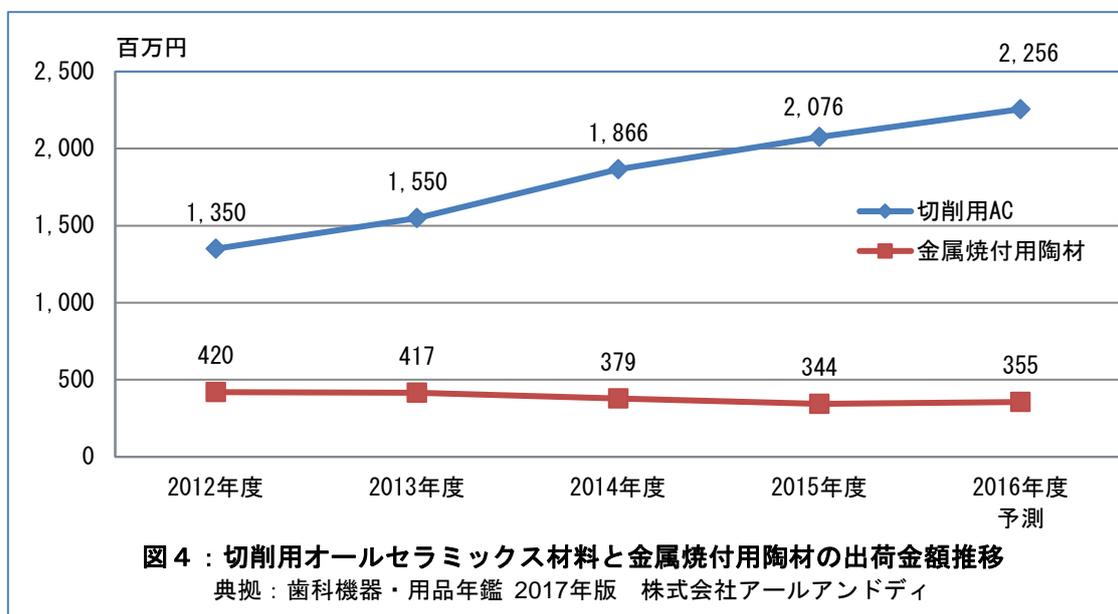
日本国内におけるCAD/CAMシステムの本格的な歯科利用は、2005年にジルコニア製品が薬事法（現在の医薬品医療機器法）の承認を取得したことに始まります。当初は「白い金属」と呼ばれていました※が、現在では様々なメーカーが参入しており、その色調や性能、品質はさまざまで、韓国製など海外製品も輸入されています。

※典拠：歯科用CAD/CAMハンドブックⅢ 歯科用ジルコニア編（山本貴金属地金株式会社）

前述のとおりCAD/CAM装置は安定した販売台数で推移しており、市場での稼働台数が増えているものと思われませんが、それとともにジルコニアに代表されるCAD/CAM用オールセラミックス材料のメーカー出荷金額も増加していることがわかります。

一方で、従来技術の金属焼付用陶材は遞減傾向にあることが明らかです（図4）。

装置の数の増加とCAD/CAMに対応する技工技術の向上とが相まって、審美性の高いCAD/CAM切削用の自由診療用材料は、さらに市場が拡大することが期待されます。



この分野でヤマキンは、自社開発のジルコニアディスク「KZR-CAD ジルコニア」に加え、2016年7月19日にプレスリリース※した「ナノジルコニア」ディスクの製造販売の準備を進めております。

既に製造設備は高知第一山南工場に移設されており、認証取得と量産化に向けた取り組みを

行っております。

※参考：パナソニック ヘルスケア株式会社との事業譲渡の合意について

<http://www.yamakin-gold.co.jp/corporate/press/popup/info160701.html>

【審美性を追求したハイブリッドレジンブロック（自由診療用）について】

ここまで見てきたとおり、健康保険適用のハイブリッドレジンブロックの市場拡大と同時にジルコニア材料の市場も拡大していることから、CAD/CAM システムを活用した審美性の高い製品を求めるニーズも高まってきているということがわかります。

このようなニーズにお応えするため、ヤマキンでは2017年1月23日に、自由診療用のグラデーションブロック「KZR-CAD HR ブロック 2 GR」を発売しました。



図5：KZR-CAD HR ブロック 2 GR

この「GR」は、歯頸部から歯冠部にかけて、サービカル色、デンティン色、エナメル色のそれぞれの色調と透明性を再現する構造を持ち、従来の単色ブロックでは再現が難しかった審美性の高い歯科補綴物をCAD/CAM（注：クローズドシステムは不可）で製作することができます。

KZR-CAD HR ブロック 2（GR） 管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料 認証番号：226AABZX00171000

【有機のヤマキンの進化】

こうした有機材料への様々なニーズと販売量の拡大に対応するため、ヤマキンでは「ハイブリッドレジンブロック」「硬質レジン」「コンポジットレジン」などの生産工程を新たに「第三工場(仮称)」へ移管・集約し、「有機材料の生産拠点」として増産の加速を図ります。

2016年9月に始まった建設は2017年6月頃の操業開始を目標に順調に進んでおり、2017年1月現在の模様は写真のとおりです。



図6：建設中のヤマキン 高知第三工場(仮称) 2017年1月現在

建設の過程はヤマキンのメルマガジン「ヤマキンニュース」で随時お知らせしておりますので、これからのメルマガも、ぜひご覧ください。

配信：2017年2月9日